

佐土原町文化財調査報告書第4集

佐土原町遺跡詳細分布調査報告書

1990. 3

宮崎県宮崎郡佐土原町教育委員会

佐土原町文化財調査報告書第4集

佐土原町は、宮崎県の中央部にあり、東は日向灘を臨み、西は宮崎市、南

佐土原町遺跡詳細分布調査報告書

本町の中心地として栄え、大正市の御用町は國文化財未確認埋文化遺跡多
数の、認定、昭和町の文化財が数多く認定されています。埋文化財では主
として、昭和町の手に宮内大学考古学研究室が行いました。本町南部の
船野古墳の発掘調査により、多數の可視器が発見されました。このほか、町
内各地から石器や土器などが見つかっており、埋文化財が数多く既存してい
ることを予想されます。今回の遺跡詳細分布調査は、一本町からアート開拓地
に指定され、今後アート開拓の開発事業の増加を防ぐため、農業振興政策
による耕種整備事業や、农地化区域の区画整理事業の実施も予想されます。
そこで、町の職能者が指導全般を行なう。事前に町内の遺跡の分布状況を
把握し、先人の遺した貴重な文化遺産の保護対策上問題に留意したいと思
います。なお今回の調査は翌年計画の1年目で、次としてアート開拓開発
が予想される地域を収容的に実施しました。

この調査にあたり、県教育委員会のご指導ご提携、とくに田代義夫氏、
高橋義典氏、北野信道氏への専門的なご指導に感謝し、まことに調査員をはじめ、
町民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

1990. 3

要成之幸司

佐土原町教育委員会 教育長 小野一郎

宮崎県宮崎郡佐土原町教育委員会

序

佐土原町は、宮崎県の中央部にあり、東は日向灘を臨み、南は宮崎市、西は西都市及び国富町の一部、北は一ツ瀬川を隔てて児湯郡新富町に隣接しています。本町は中世より江戸期にかけて伊東氏、島津氏の城下町で、政治、文化の中心地として栄え、大光寺の国指定重要文化財木造騎獅文珠菩薩をはじめ、国指定、県指定の文化財が数多く遺されています。埋蔵文化財につきましては、昭和45年46年に別府大学考古学研究室が行いました、本町西部の船野台地の発掘調査により、多数の旧石器が発掘されました。このほか、町内各地から石器や土器片が見つかっており、埋蔵文化財が数多く散在していることが予想されます。今回の遺跡詳細分布調査は、本町がリゾート推進地区に指定され、今後リゾート関連の開発事業の増加をはじめ、農業基盤整備による圃場整備事業や、市街化区域の区画整理事業の実施も予想されます。そこで、国、県の補助及び指導を仰ぎながら、事前に町内の遺跡の分布状況を把握し、先人の遺した貴重な文化遺産の保護対策と開発に役立てたいと思います。なお今回の調査は2ヶ年計画の1年目で、主としてリゾート関連開発が予想される地域を重点的に実施しました。

この調査にあたり、県教育委員会のご指導ご援助、とりわけ岩永哲夫氏、面高哲郎氏、北郷泰道氏の専門的なご指導に感謝し、さらに調査員をはじめ、町民の皆様のご理解とご協力に対し厚く御礼申し上げます。

平成2年3月

佐土原町教育委員会 教育長 小野 勝

例　　表　　言

- 本書は、佐土原町教育委員会が平成1年度に文化庁、県教育委員会の補助を受けて実施した遺跡詳細分布調査の報告書である。
- 本調査は、埋蔵文化財に関する調査であり、内容はリゾート推進重点地区を中心とした埋蔵文化財包蔵地調査カード及び遺跡分布図の作成である。
- 本書の構成は、遺跡地名表・附図の遺跡分布図からなり、本報告は来年度に刊行する。
- 本書に掲載された埋蔵文化財はすべて文化財保護法にいう「周知の埋蔵文化財包蔵地」である。
- 「周知の埋蔵文化財包蔵地」において、土木工事等を実施する場合には、工事着手の2ヶ月以前に文化庁官に届け出ることが文化財保護法により義務づけられているので、「周知の埋蔵文化財包蔵地」およびこれに隣接する地域において土木工事を実施しようとする場合は、計画段階において佐土原町教育委員会（佐土原町大字下田島20660番地・TEL0985-73-1111）および県教育委員会文化課（宮崎市橋通東1丁目9番10号・TEL0985-24-1111）に連絡し、文化財保護法による協議をされたい。また、国および地方公共団体等が土木工事等を実施する場合には、土木工事等の通知書を提出することが必要である。
- なお、埋蔵文化財は、その性質上未発見のまま地中に包蔵されている場合があり、工事等により当該文化財が発見された場合にも前記と同様、佐土原町教育委員会および県教育委員会文化課に連絡されたい。
- 本書および、埋蔵文化財に関するお問い合わせは、佐土原町教育委員会および県教育委員会文化課へお願いします。

凡　　例　　目

1. 指定文化財　例

- 埋蔵文化財包蔵地（以下「遺跡」）は、地図上に指定文化財の場合にはこの範囲を○で示した。指定以外の遺跡で範囲の確認、推定できるものは○・で示した。・は指定。・は未指定の遺跡。
- 地図の「遺跡番号」は、すべて地名表のそれと一致する。
- 「遺跡番号」は、指定文化財は1番号とし、リゾート推進重点地区は1000番号とした。
- 旧番号は昭和51年度刊行の「全国遺跡地図-宮崎県-」の遺跡番号である。
- 遺跡名は、原則として小字名にしたがい、一部のものについては、通称、俗称によった。
- 遺跡の所在地は、大字名、小字名で示した。地番については、佐土原町教育委員会および県教育委員会文化課へ問い合わせられたい。
- 調査の組織

調査主体	佐土原町教育委員会
小野 勝	(教育長)
齊藤 健	(社会教育課長)
日高 幸雄	(社会教育課長補佐)
庶務担当	関屋 文子 (社会教育課主幹)
調査担当	木村 明史 (社会教育課主事)
調査指導	宮崎県教育委員会文化課
調査補助員	岩見 雅子 金丸 初子 黒木 都美子 富田 恵子 中武 恵子 長峰 紀子 藤田 久美子 渡辺 由美恵

目 次

I 指 定 文 化 财 1

II 埋藏文化财包藏地地名表 2

附 図 佐土原町遺跡分布図

本稿は、近畿地方の考古学的研究が、著しく進歩した現在、既存の『古墳時代考古学』（中村吉義著）の他に、『古墳時代の諸問題』（伊庭朝輔著）『古墳時代の歴史』（井上義久著）『古墳時代の社会・文化』（中村吉義著）など、多くの新著が登場する一方で、古墳時代の遺跡調査が盛んに行なわれる一方で、多くの新発見がなされ、それらが古墳時代の研究を進展させたのである。しかし、本稿では、古墳時代の研究を主として扱うことは、さうした著者たちの論述に譲ることとする。古墳時代の研究は、今後とも著しく進展する予定であるが、本書では、その動向を予測するには、現段階で十分とは思わない。そこで、本書は、古墳時代の遺跡調査とその結果を示すものである。本書は、古墳時代の遺跡調査の歴史と、その研究の歴史を示すものである。

本稿は、古墳時代の考古学的研究の歴史を、概略的に示すものである。そのために、古墳時代の考古学的研究の歴史を、その研究の歴史を示すものである。

本稿は、古墳時代の考古学的研究の歴史を、概略的に示すものである。そのために、古墳時代の考古学的研究の歴史を、その研究の歴史を示すものである。

本稿は、古墳時代の考古学的研究の歴史を、概略的に示すものである。

本稿は、古墳時代の考古学的研究の歴史を、概略的に示すものである。

本稿は、古墳時代の考古学的研究の歴史を、概略的に示すものである。

本稿は、古墳時代の考古学的研究の歴史を、概略的に示すものである。

本稿は、古墳時代の考古学的研究の歴史を、概略的に示すものである。

I. 指定文化財

文書類	名 称	内 容	登録年月日	登録者	登録年月日	登録者
文書類	名 称	内 容	登録年月日	登録者	登録年月日	登録者
文書類	名 称	内 容	登録年月日	登録者	登録年月日	登録者

文書類	名 称	内 容	登録年月日	登録者	登録年月日	登録者
文書類	名 称	内 容	登録年月日	登録者	登録年月日	登録者
文書類	名 称	内 容	登録年月日	登録者	登録年月日	登録者
文書類	名 称	内 容	登録年月日	登録者	登録年月日	登録者
文書類	名 称	内 容	登録年月日	登録者	登録年月日	登録者
文書類	名 称	内 容	登録年月日	登録者	登録年月日	登録者

文化財 番号	名 称	所在在地	種 别	旧 番 号	文 献	備 考
1	広瀬村古墳	大字下那珂字平道・鈴町 岩穴ヶ道外	古 墓	83・84 16-96 100		
2	那珂村古墳	大字東上那珂字井手下	古 墓	16 - 81		
3	土器田横穴墓群	大字下那珂字土器田	古 墓	16 - 95	一般国道30号佐土原八丁目(太原 市文化財発掘調査報告書112)	

文化財 番号	名 称	所 在 地	種 别	旧 番 号	文 献	備 考
1-1	庄原村古墳	大字下田島字鈴町	古 墓			
1-2	庄原村古墳	大字下田島字岩穴ヶ道	古 墓			
1-3	庄原村古墳	大字下那珂字平道	古 墓			
1-4	庄原村古墳	大字下那珂字尾原	古 墓			
2	那珂村古墳	大字東上那珂字井手下	古 墓			
3	土器田横穴墓群	大字下那珂字土器田	古 墓			

II. 埋藏文化財包藏地地名表

リゾート推進重点地区 1001~

遺跡番号	名称	所在地	種別	時代	旧番号	文献	備考
1001	叶追遺跡	大字東上郡河字叶追	散布地	縄文			
1002	山田第1遺跡	大字東上郡河字山田	散布地	平安~近世			
1003	隱山遺跡	大字上田島字隱山	散布地	弥生~中世			
1004	坂ノ下遺跡	大字東上郡河字坂ノ下	散布地	弥生~中世			
1005	山田第2遺跡	大字東上郡河字山田	散布地	弥生~中世			
1006	山田第3遺跡	大字東上郡河字山田	散布地	縄文			窓跡
1007	古城第1遺跡	大字上田島字古城	散布地	弥生~中世			
1008	坂本追遺跡	大字上田島字坂本追	散布地	古墳~中世			
1009	古城第2遺跡	大字上田島字古城	散布地	弥生~中世			
1010	馬場第1遺跡	大字上田島字馬場	散布地	古墳			
1011	馬場第2遺跡	大字上田島字馬場	散布地	中世~近世			
1012	津倉遺跡	大字東上郡河字津倉	散布地	弥生~中世			
1013	井手下遺跡	大字東上郡河字井手下	散布地	縄文			
1014	後田第1遺跡	大字上田島字後田	散布地	弥生~中世			
1015	後田第2遺跡	大字上田島字後田	散布地	弥生~近世			
1016	後田第3遺跡	大字上田島字後田	散布地	弥生~中世			
1017	宮ヶ追遺跡	大字上田島字宮ヶ追	散布地	弥生~中近世			
1018	水尻遺跡	大字東上郡河字水尻	散布地	弥生~中近世			
1019	上平田第1遺跡	大字東上郡河字上平田	散布地	弥生~中近世	.		
1020	上平田第2遺跡	大字東上郡河字上平田	散布地	弥生~近世			
1021	扇ノ丸遺跡	大字東上郡河字扇ノ丸	散布地	弥生~中世			

遺跡番号	名称	所在地	種別	時代	田番号	文書	備考
1022	伊賀給遺跡	大字下那珂字伊賀給	散布地	新~中世			
1023	中溝第1遺跡	大字下那珂字中溝	散布地	新~中世			
1024	尾原第1遺跡	大字下那珂字尾原	散布地	新~中世			
1025	平村第1遺跡	大字下那珂字平村	散布地	新~中世			
1026	平村第2遺跡	大字下那珂字平村	散布地	新~中世			
1027	尾原第2遺跡	大字下那珂字尾原	散布地	新~中世			
1028	尾原第3遺跡	大字下那珂字尾原	散布地	新~中世			
1029	平村第3遺跡	大字下那珂字平村	散布地	新~中世			
1030	小平遺跡	大字下那珂字小平	散布地	新~中世			
1031	小牧遺跡	大字下那珂字小牧	散布地	新~中世			
1032	七曲遺跡	大字下田島字七曲	散布地	古墳~中世			
1033	中溝第2遺跡	大字下那珂字中溝	散布地	新~中世			
1034	下ノ山第1遺跡	大字下那珂字下ノ山	散布地	新~中世			
1035	下ノ山第2遺跡	大字下那珂字下ノ山	散布地	新~中世			
1036	明神山遺跡	大字下那珂字明神山	散布地	新~中世			
1037	鈴町池横穴墓群	大字下田島字鈴町	古墳	古墳			
1038	平郷横穴墓群	大字下那珂字平郷	古墳	古墳			
		田代古墳	古墳	古墳			
		田代古墳	古墳	古墳			
		田代古墳	古墳	古墳			
		田代古墳	古墳	古墳			

佐土原町遺跡詳細分布調査報告書

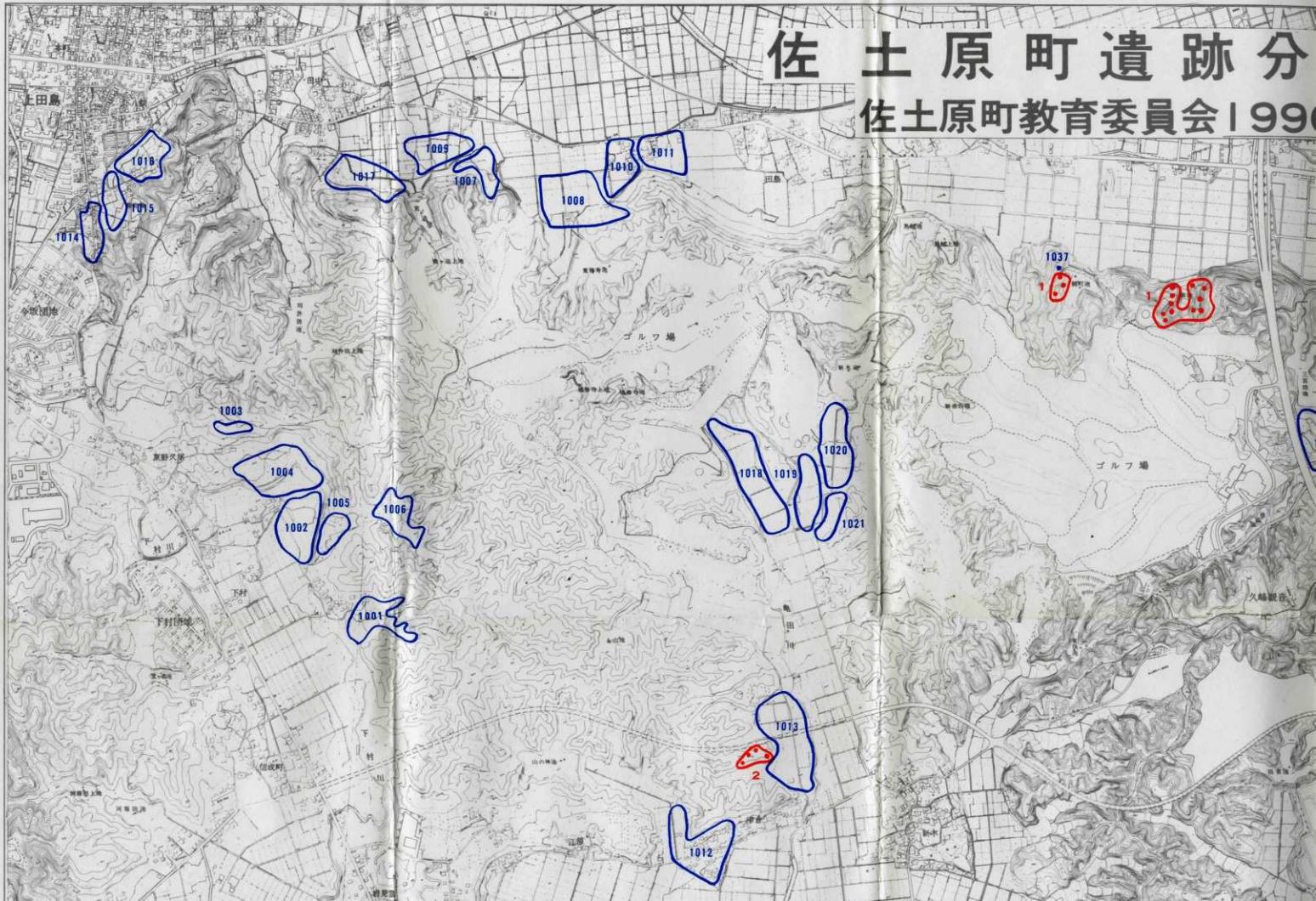
平成2年3月31日

編集・発行

佐土原町教育委員会
佐土原町大字下田島20660

印刷
池田印刷

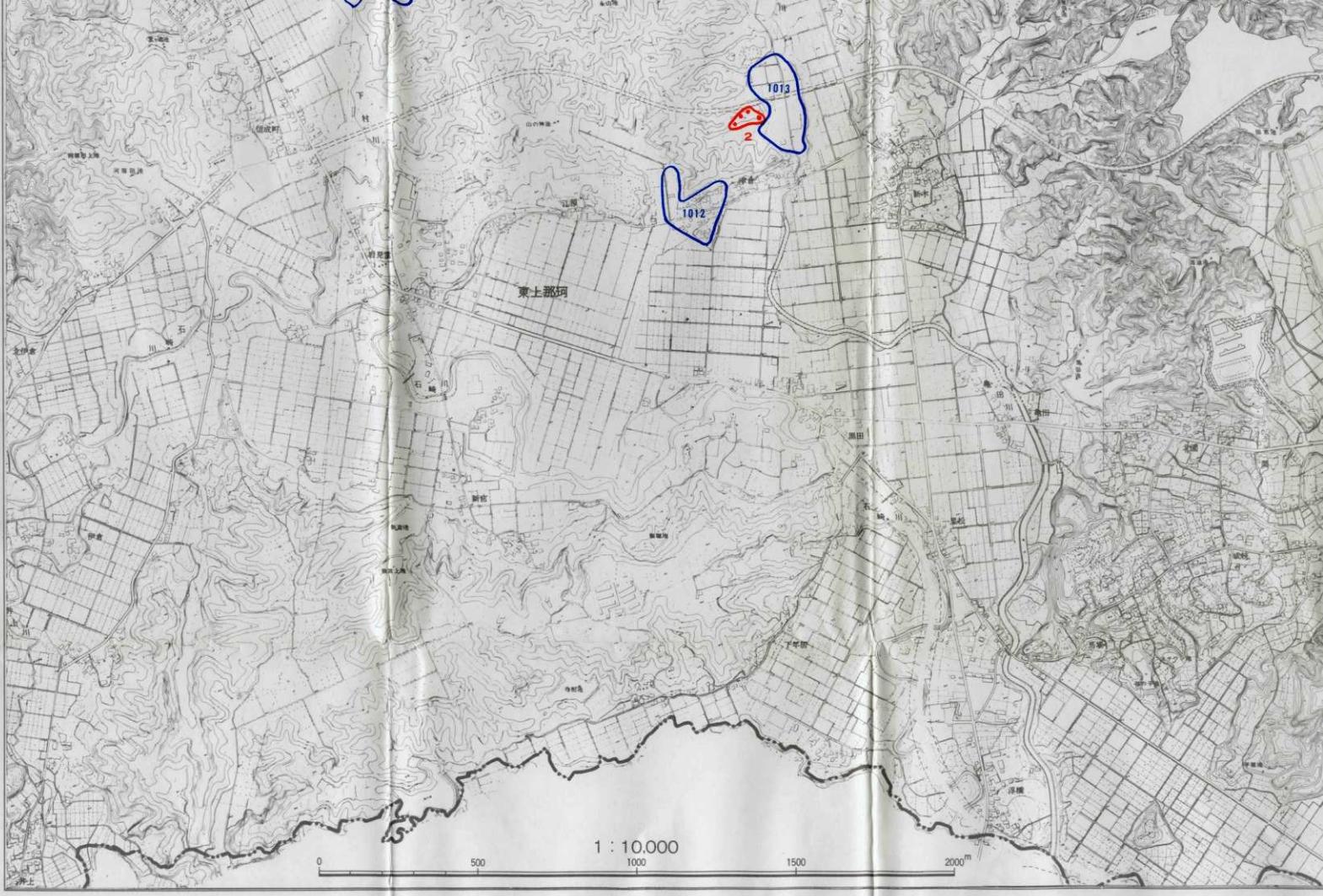
佐土原町遺跡分 佐土原町教育委員会 1990



土原町遺跡分布図

土原町教育委員会 1990.3





1 : 10,000

0

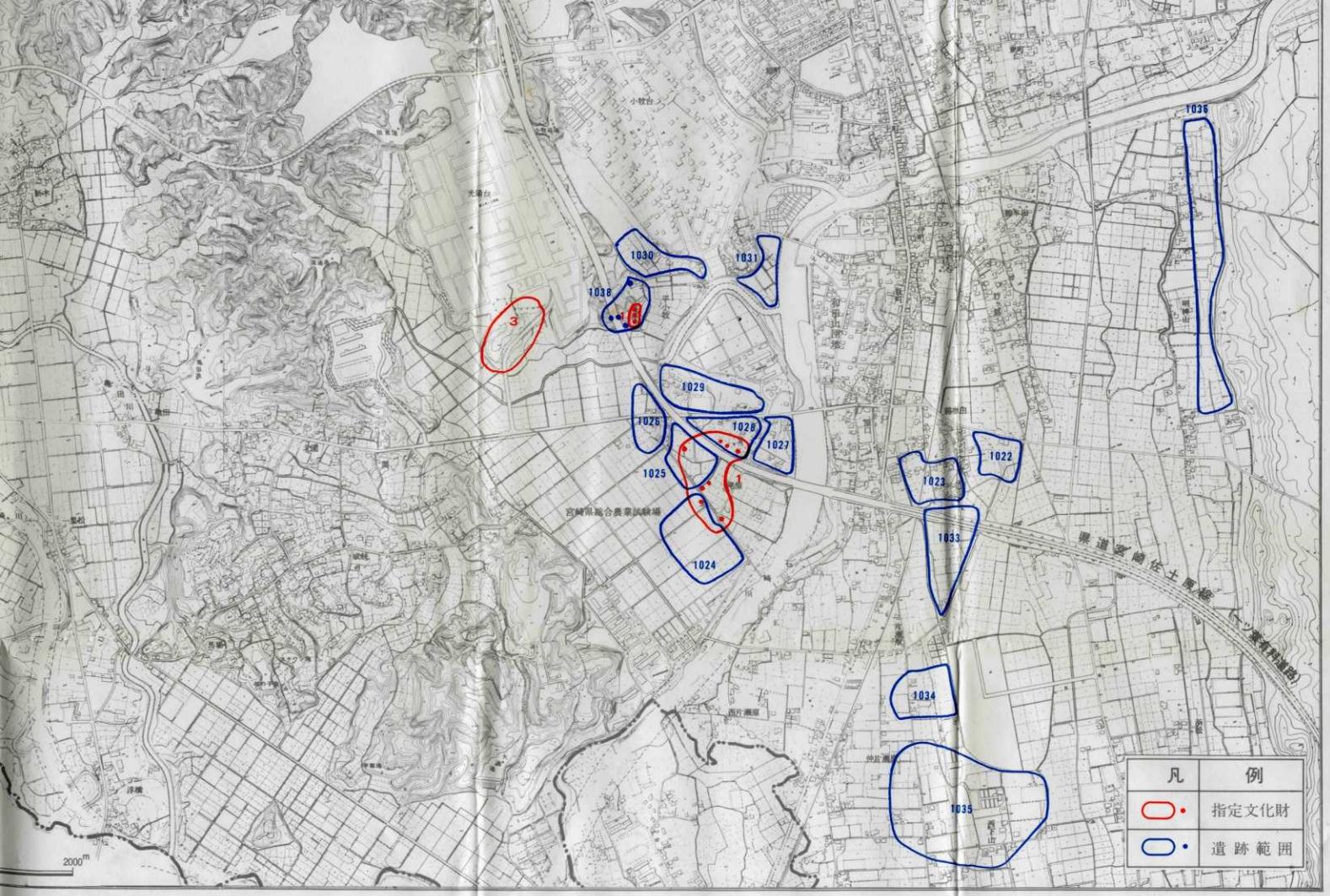
500

1000

1500

2000m

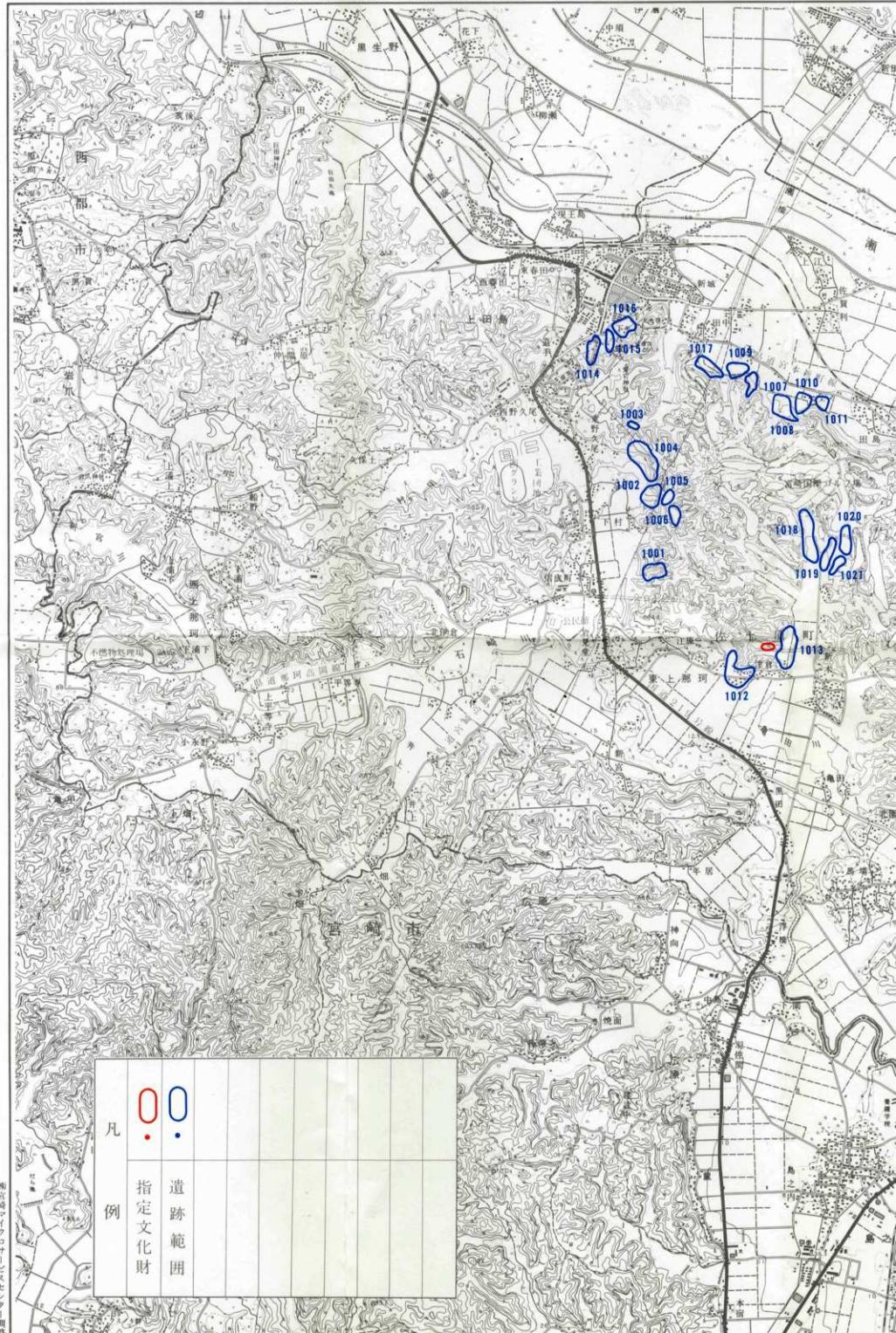
佐
土
原
町



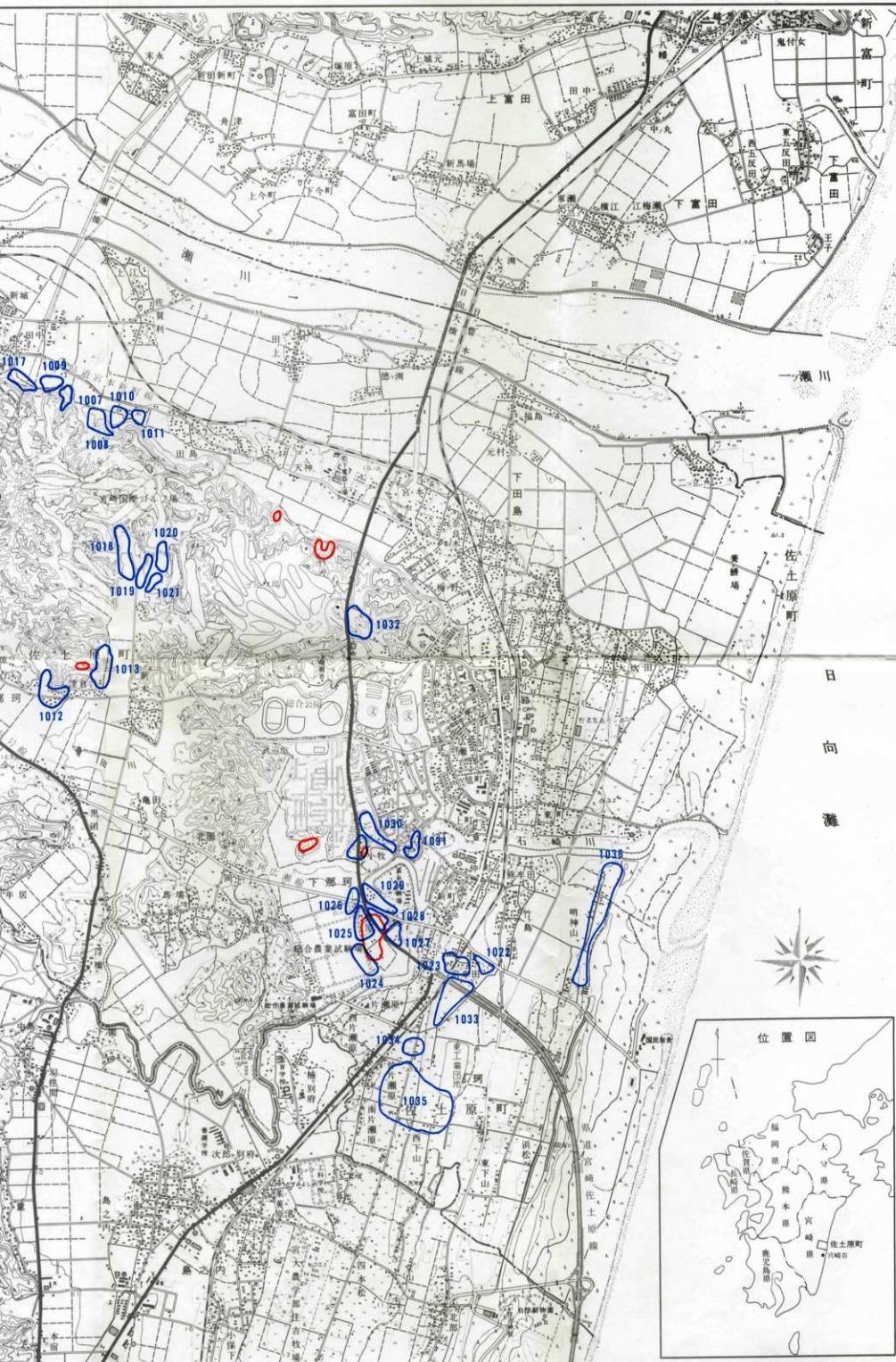
佐土原町遺跡分布図

1:25,000

佐土原町教育委員会 1990.3



昭和六十三年六月



佐土原町

